

VOL.13| 2024年5月

EVOLUTION

～幸せな未来を目指して進化する～



「ずーっと。」
人と社会を支える

ik 溪仁会グループ

社会福祉法人 溪仁会 社内報

発行：社会福祉法人溪仁会
発行責任者：法人本部長 辻村 真
〒064-0823
札幌市中央区北3条西28丁目2-1
TEL (011) 640-6767

Welcome

ようこそ社会福祉法人溪仁会へ



社会福祉法人溪仁会「新入職員全体研修」 2024/4/2

溪仁会グループ合同入社式 社会福祉法人溪仁会新入職員研修

2024.4.1～3

2024年度溪仁会グループ合同入社式が4/1（月）グランドメルキュール札幌大通ホテルにて開催されました。社会福祉法人からも新卒・既卒合わせて約40名が参加し、溪仁会グループ最高責任者成田理事長からのご挨拶・各施設の幹部職員の紹介等が行われました。社会福祉法人の全体新入職員研修会も、参加者数の関係で今年度は4/2・3と2日間にわけて、約50名ご参加いただきました！皆さま、どうぞよろしくお願いいたします！

2024年度 溪仁会グループ合同入社式

Contents

- ・ 溪仁会グループ合同入社式
- ・ 社会福祉法人溪仁会新入職員研修
- ・ 2024年度新入介護職員研修会
- ・ 法人未来プロジェクト職員アンケート講評
- ・ TOPICS



社会福祉法人溪仁会「新入職員全体研修」
2024/4/3



溪仁会グループ合同入社式
2024/4/1





新

介護職員としての

目指すべき理想像に向かって

入介護職員研修会



法人全体の新入介護職員研修会も2年目となり、今年度は5日間の日程すべて集合研修で開催し、25名参加いただきました！



研修プログラム事務局の皆さま

「自分の介護」「こうしたい」 という想いを 言葉で表現できるよう

研修は、「介護職員としての基本の理解」と「介護職員としての目指すべき理想像の構築」のテーマでプログラムが組まれ、たくさんのグループワークと発表の時間が設けられました。講師陣も、改めて介護観を考える機会となりました。専門職のスタートをきった皆さん、知識技術を研鑽しながら、理想像にむかって、ともに磨いていきましょう！



研修プログラム



- 4/8 コミュニケーションの基本
- 4/9 排泄ケアの基本・観察の視点・報告・連絡・相談
介護記録の目的・必要性・記入方法
- 4/10 基本的な移乗支援・歩行支援・起居動作など
介護職としての理想像の構築・自己課題作成
- 4/25 認知症ケア
- 4/26 自己課題の取り組み報告会
今後の行動計画を作成・発表



そのオムツ
本当に必要
ですか？



ユニ・チャームメンリツ株式会社様



その人を知る

からはじまる



認知症であってもなくても、一人の「人」として思い、寄り添うことが大切です。私たちみんなそれぞれ生きてきた人生も違います。十人十色は認知症であっても同じです。まずは私たちがその方をよく知って信頼してもらえる関わり方をしないことには、寄り添うケアができません。BPSDは、不適切な生活環境に対してご本人から発信されるSOSです！ご本人が何を思い、何を伝えたいのか、日々考えることが大切です。

先輩職員より新入職員の皆さんへ

YELL!



「てあて」

という看護の教を大切にしています。きっと、これから業務に就き始めて忙しい毎日になってくと思います。その中で一つ一つご利用者の希望に添えないことも出てくるかもしれません。そんな時に手を当てる、温もりを共有できるケアが「てあて」です。技術でも、知識でもない、みなさんが明日からできる最強のケアだと思います。是非、実践してみてください。



「一緒に楽しむ。真摯に向き合う。」

自分ばかりでなく、利用者さんをおいてけぼりにせず、一緒に楽しむ。うまく言いくるめようとしても相手には通じています。利用者さんの訴えをどうしたらいいか、一緒に泣いたり笑ったり。真摯に向き合うことから信頼関係がうまれます。一緒に頑張っていきましょう！

「思いやり」

介護には専門性はもちろん必要だが何よりも「思いやり」の気持ちを持ち続けてほしい。私たちが何年たっても持ち続けていくことが明るい未来につながっていきます。今日のこの気持ちを忘れずに、必要とされる介護職員となっていきたいです！



「待つ」

ということも介護においては大切です。相手が動き出そうとしているのに、仕事の都合とか業務の流れとかで、自分が待てないために手伝うのではなく、待てるかどうか。速いことがすべてではないです。なかなか言葉が発せられない、動き出すにも時間がかかる方がいます。相手の動きを汲み取って「待つ」ということを大切にしています。



「チームで」

介護はチームで働く仕事。個人だけではなく、チームとしてパフォーマンスを高めていかなければいけない。同じチームで同じ目標に向かって働く。この仲間と働けるこの一分一秒を大切に、仲間を思いやって働いてほしい。先輩たちは皆さんが何か困ったときには、絶対にフォローしますので、これから一緒に頑張っていきましょう！



交流会の様子



ミャンマーの民族衣装で参加してくれました！



8/30 (金) フォローアップ研修でまたお会いしましょう！

